

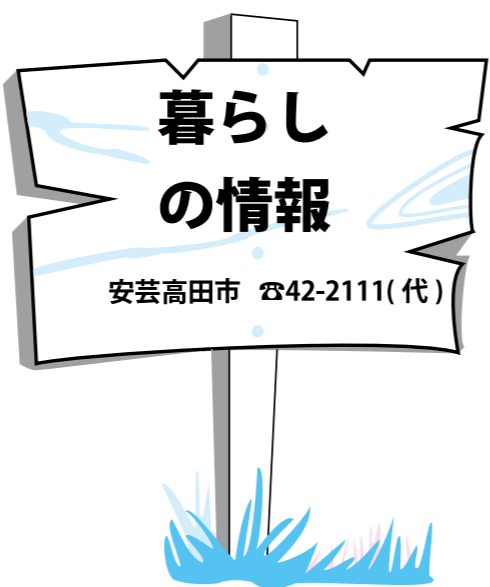
● 武者絵巻 (吉田・丹比・可愛・郷野地区振興会他)
 ● 各種ステージ発表 (園児、児童、民謡団体、各種教室他)

内容
 ● 各種ステージ発表 (園児、児童、民謡団体、各種教室他)

場所 吉田運動公園 (吉田町相合)

日時 7月16日(土) 17:00
 開会 (雨天の場合は、17日に順延)

政策企画課 ☎ 42-5612



● 一心節踊り (各地区振興会、民謡団体、事業所他)
 ● 花火打ち上げ (約2,300発)

◎ 各種バザーをご用意しています。

シャトルバスの運行
 16:30分頃より、臨時駐車場 (安芸高田市役所駐車場) から会場までシャトルバスを運行します。会場周辺は、混雑が予想されますので、シャトルバスをご利用ください。



第8回 あきたかた市民合唱祭
 生涯学習課 ☎ 42-0054

市内の9団体のコーラスグループによる美しいハーモニーが会場を包み、フィナーレでは来場者・出演者の全員で「上を向いて歩こう」を大合唱いたします。また、アトラクションでは、安芸高田ウインドアンサンブルによる躍動感あふれる演奏も行われます。

当日はバザーも出店しておりますので皆様ぜひ、夏の合唱祭にご参加ください。

場所 高宮田園パラッツォ
 日時 7月10日(日)
 13:30開演

入場料 無料
 お問い合わせ先 生涯学習課文化・スポーツ振興係



分かります。楽しい歴史「黒田裕樹の歴史講座」
 甲田人権会館 ☎ 45-4922

歴史とは、ひとつの事実に興味をもって理解しようとする。これまで知らなかったことも楽しく学べる講座となります。この機会に学んでみましょう。

講師 大阪府内の高校社会科教員 黒田裕樹先生

第1回「毛利家の栄枯盛衰」
 7月30日(土)
 13:30~15:30

第2回「秀吉の朝鮮出兵の真実」
 8月5日(金)
 13:30~15:30

第3回「日本と韓国のほんとの歴史」
 8月21日(日)
 13:30~15:30

場所 甲田文化センター ミュージ

毛利元就墓前祭 毛利奉賛会会長 ☎ 090-8993-3304
 7月16日は、毛利元就が没



した日です。毛利奉賛会では毎年この日に、墓前祭を開催しています。毛利元就 毛利報公会会長、山辺 毛利事務所所長、安芸ひろしま武将隊など多数参加されます。市民の皆様もご参加ください。

日時・場所 7月16日(土) 8:30~毛利弘元墓所(猿掛城跡下弘元墓所前)
 10:00~毛利元就墓所(郡山元就墓所前)

歴史民俗博物館公開講座 安芸高田市歴史民俗博物館 ☎ 42-0070

第1回「古墳から探る 広島



減らそう犯罪 フィルターをかけていますか!

子供がおられる世帯で、パソコンやゲーム機または携帯電話機をお持ちの家庭は多くあると思います。パソコン、携帯電話はもちろんのこと、ゲーム機でもインターネットに接続できるものが多く発売され、子供たちでも自由にインターネットで情報等を得ることができる時代です。しかし、最近はインターネットを利用しての詐欺も多発し、多感な年齢では、性的表現に対する興味を持ちインターネットに子供が接続しワンクリック詐欺被害にあふ事例が出てきております。詐欺被害防止はもちろんのこと年齢に応じた情報を取得することは教育上大切な問題でありますのでパソ

コン、携帯電話、ゲーム機には、フィルターを掛けましょう。

- 注意点
- ① フィルターを掛けた際のパスワードは保護者が管理する
 - ② 必要に応じてフィルター解除する場合は家族がいるところでの使用を徹底する
 - ③ ワンクリック詐欺等に遭ったと思われる場合は相手に連絡せず警察、市役所危機管理課へ相談を



安芸高田警察署交通ミニコーナー H28.5末現在

● 平成28年交通事故発生状況 (年間累計) 安芸高田警察署管内

区分	平成28年	平成27年	前年同期比増減数
人身事故	43件	35件	8件
死者数	2人	1人	1人
負傷者数	64人	47人	17人

- 管内交通事故の特徴
- ・ 正面衝突 (中央線はみ出し) 2件
 - ・ 追突事故 4件
 - ・ 出会い頭衝突 3件
 - ・ 単独事故 (路外逸脱) 1件 でした

- ★ 広島県夏の交通安全運動
- 1 期間 平成28年7月11日(月)~7月20日(水)までの10日間
 - 2 年間スローガン 『こんばんは、早めのライトで ごあいさつ』
 - 3 運動の重点
 - 高齢者の交通事故防止
 - 飲酒運転の根絶
 - 自転車安全利用の推進

平成28年広島県交通安全キャッチフレーズ 『なくそう交通死亡事故・アンダー90』



違う文化から日本を考える
 中学生向けに
 こんな取り組みをしています!

今回は、私たちが行っている多文化共生の取り組みのひとつ、市内の中学生を対象にした多文化共生入門講座を紹介いたします。アフリカの食生活のビデオを見てもらいます。普段、私たちが食べないネズミやセミを食べる人々が登場します。中学生は「エエー」と声をあげたりして見ます。まさしくカルチャーショックです。カルチャーショックとは、自分たちとは異なる習慣に出会ってとても衝撃を受けることです。大抵は、「こんな無理、無理」という拒否反応になります。

そのあと、4、5名の班で自分の身の生活について話してもいいです。たとえば、目玉焼きに何をかけて食べ

人権多文化共生推進課 ☎ 42-15630

るかなどです。そこで中学生は、同じ地域に住んでいる同級生が、自分とは異なるものをかけて食べていることに気づきます。そのときも「それ、おかしいよ」などの声が出てきます。そこで、私は、異文化は海外ばかりではなく、自分の身近にあること、しょうゆ、塩コショウのみ、ソースを使う違いに「正しい」、「悪い」があるかを聞きます。そして、日本人がタコを食べることに驚く外国人もいることを紹介して、タコを食べることについて「正しい、悪いか」と再度、問いかけます。

この続きは、次回紹介します。ただ、なぜこの取り組みを私たちは行っているのでしょうか。彼らは、国内外で異文化に出会う可能性がとも増える世代です。異文化に出会って拒否感ばかりでは本人も大変です。異文化をどう考えれば良いかを柔軟な頭を持つ若い時に知ってほしい。まさしく「鉄は熱いうちに打て」です。

(文: 県立広島大学 上水流 久彦 准教授 イラスト: ロナルド・スチュワート 准教授)

